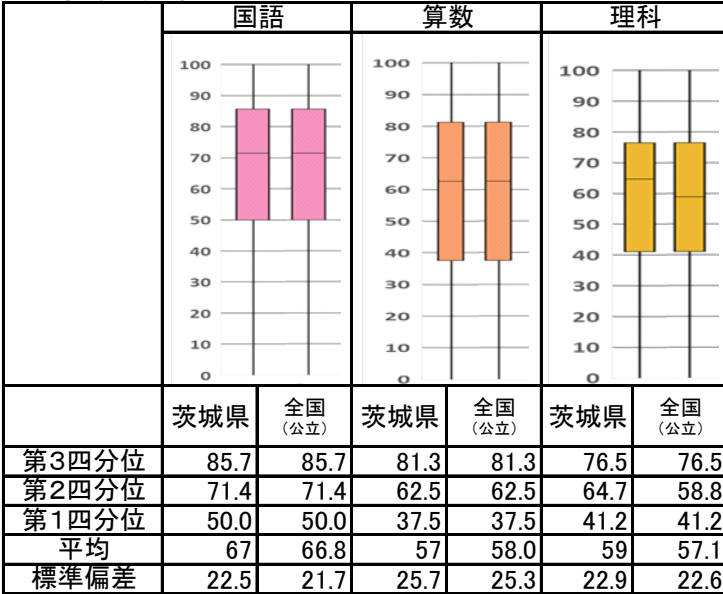


8.茨城県

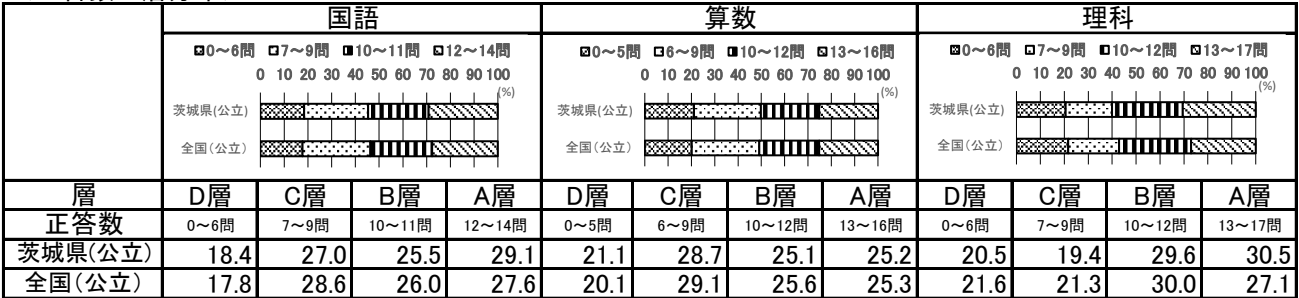
【1】教科調査・質問調査の結果

①小学校

<正答率の分布>

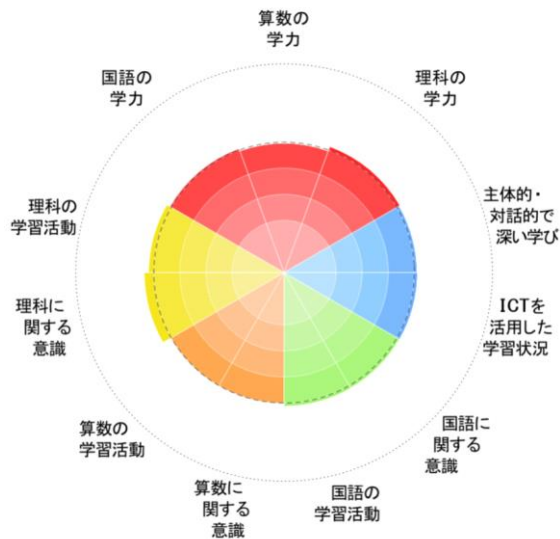


<正答数の層分布>

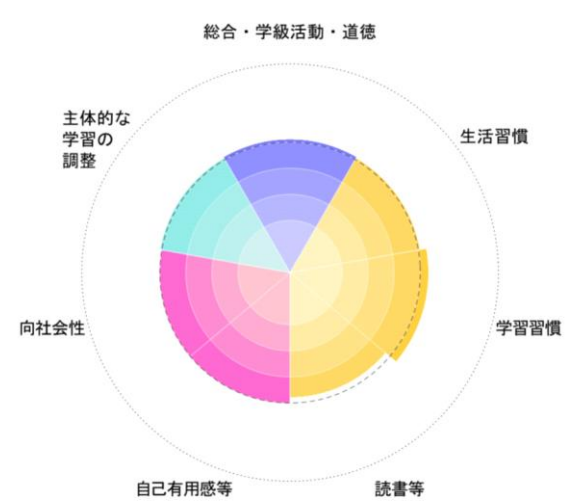


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)

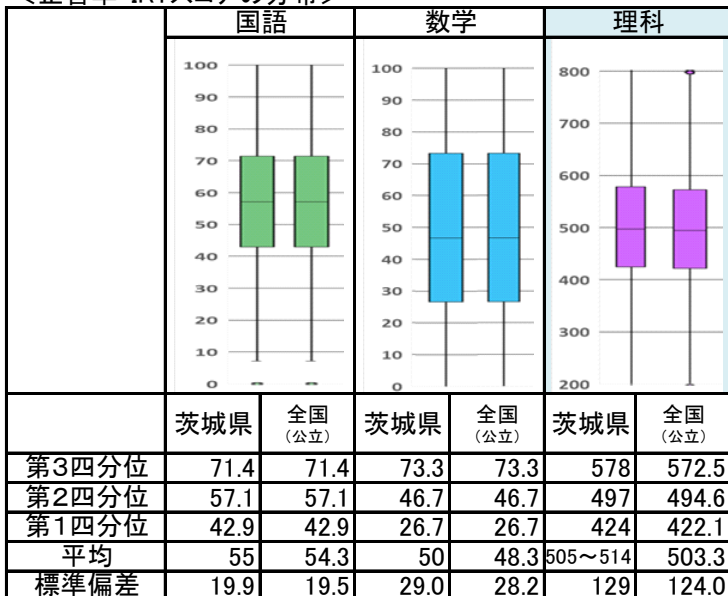


【その他の学力・学習状況】(全国基準)



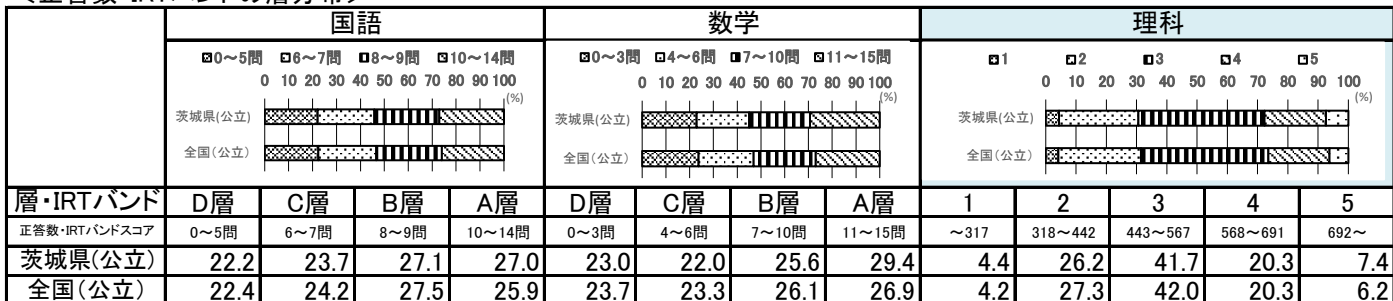
②中学校

<正答率・IRTスコアの分布>



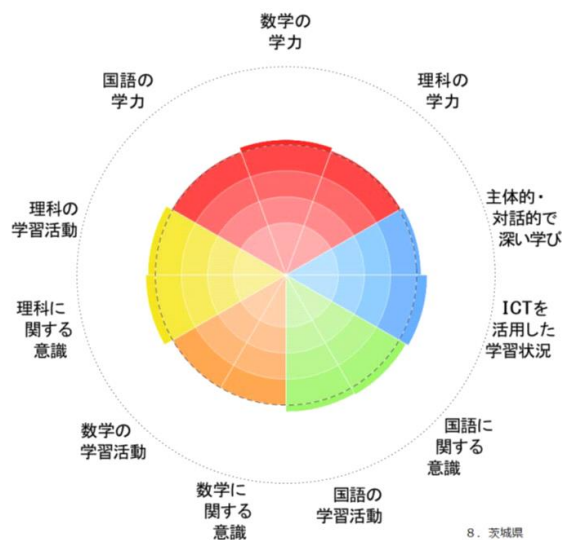
※中学校理科は、CBTで実施し、IRT(項目反応理論)に基づき算出したスコアにより結果を表示している。

<正答数・IRTバンドの層分布>

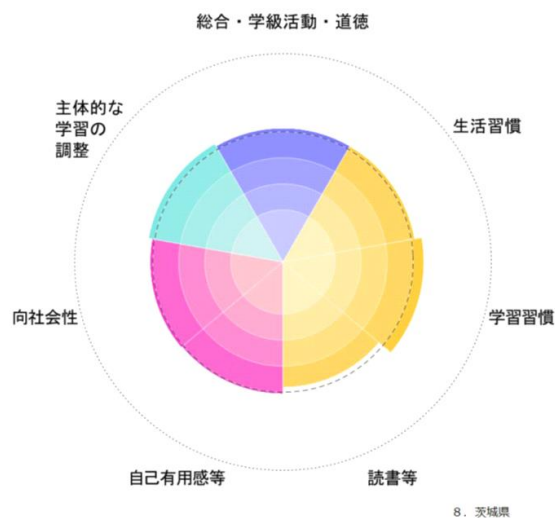


<結果チャート> ※点線は全国平均を示している。

【教科を中心とした学力・学習状況】(全国基準)



【その他の学力・学習状況】(全国基準)



【2】全体の特徴

- ・全教科、全国的なばらつき傾向と大きな差は見られなかった。
- ・D層の割合、バンド1の割合は、それぞれ全国の結果と比較して大きな差は見られなかった。
- ・小学校においては、「学習習慣」や「理科に関する意識」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「自己有用感等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。
- ・中学校においては、「ICTを活用した学習状況」や「学習習慣」領域のスコアについて、高い結果が出ている。また、「読書等」や「自己有用感等」領域のスコアについて、低い結果が出ている。